

ひごろ しせい ごりかい ごきょうりよく まこと
日頃より市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

ひろしまし げんざい れいわ ねんど れいわ ねんど けいかくきかん しょうがいしゃけいかくおよ
広島市では現在、令和6年度から令和11年度までを計画期間とする障害者計画及び、
れいわ ねんど れいわ ねんど けいかくきかん だい き ひろしまししょうがいふくしけいかく だい き
令和6年度から令和8年度までを計画期間とする第7期広島市障害福祉計画・第3期
ひろしまししょうがいふくしけいかく さくてい む とりくみ すす
広島市障害児福祉計画の策定に向けた取組を進めています。そのため、市民の皆さまの
ふくし りようじったい ふくし かん いしき いこう はあく けいかくさくてい しさくすいしん
福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に
やくだ えてることを目的にアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、○○○○○○○○○○○○○○○○の方を対象に、実施しています。

ごかいとう ないよう こじん とくてい かたち こうひょう
御回答いただいたアンケートの内容については、個人を特定できる形で公表すること
は一切ありません。御協力をお願いいたします。

【お答えいただく前に】

- 1 このアンケート 票に名前を書いていただく必要はありません。個人の秘密は守られますから、安心してお答えください。もし、答えたくないことや、わからないことがありましたら、お答えいただく必要はありません。
- 2 この調査は、できるだけ障害のある御本人がお答えください。
ごほんにん きにゆう ばあい ごほんにん こた ばあい か
御本人が記入できない場合や御本人が答えにくい場合には、代わってどなたかが、ごほんにん いけん き また ごほんにん たちば た か
が、御本人の意見を聞きながら、又は、御本人の立場に立って、お書きください。
- 3 回答は、 の中のあてはまる選択肢の番号に○をつけてください。なお、「その他」の場合には、() の中にその具体的な内容をお書きください。
- 4 点字版、音声コード版も用意しておりますので、必要な方は下記まで御連絡ください。御自宅まで郵送します。

ごきにゆう ひょう がつ にち ようび どうふう へんしんようふうとう
御記入いただいたアンケート票は、○月○日（○曜日）までに、同封の返信用封筒により、広島市役所まで御返送ください。切手は不要です。

ごへんそう ふうとう なまえ じゅうしょ か ひつよう
なお、御返送にあたり、封筒にあなたの名前や住所を書いていただく必要はありません。

れんらくさき
【連絡先】 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
ひろしましけんこうふくしきょくしょうがいふくしか
広島市健康福祉局障害福祉課
でんわ ファクス
電話：082-504-2147 FAX：082-504-2256
イー
Eメール：shougai@city.hiroshima.lg.jp

このアンケートを記入するのはどなたですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。(以下「○は1つ」と表記。)

1. 本人	2. 配偶者	3. 子ども
4. 親(父・母)	5. その他の親族	6. 成年後見人
7. 利用事業所の職員	8. その他()	

あなた(障害のある御本人)のことについておたずねします。

問1 あなたの年齢を記入してください。

年齢(令和○年○月1日現在)
満()歳

問2 あなたの住まいはどちらですか。(○は1つ)

1. 中区	2. 東区	3. 南区
4. 西区	5. 安佐南区	6. 安佐北区
7. 安芸区	8. 佐伯区	9. その他

問3 あなたの障害の種別や、お持ちの障害者手帳の等級等はどれですか。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ)

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	

身体障害の種類(部位)はどれですか。(○はいくつでも)

- 目に障害がある(視覚障害)
- 耳に障害がある(聴覚又は平衡機能障害)
- 聞く・話す・読む・書くことに障害がある、ものがかめない(音声・言語・そしゃく機能障害)
- 手足のまひなどにより、日常生活での動作に支障がある(上肢機能障害、下肢機能障害、移動機能障害、体幹機能障害)
- じん臓、心臓、呼吸器、肝臓、小腸又はぼうこう・直腸の障害(内部障害)
- ウイルスによる免疫機能の障害(免疫機能障害)

(2) 療育手帳(○は1つ)

1. ㊶	2. A	3. ㊸	4. B	5. 持っていない
------	------	------	------	-----------

(3) 発達障害（発達障害の診断名）

1. アスペルガー症候群	2. 自閉症
3. 1、2以外の広汎性発達障害	4. 学習障害（LD）
5. 注意欠如・多動性障害（ADHD）	
6. その他（	）
7. ない	

(4) 精神障害者保健福祉手帳（〇は1つ）

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 持っていない
-------	-------	-------	-----------

(5) 自立支援医療（精神通院）受給者証

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

(6) 特定医療費（指定難病）受給者証

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

(7) 高次脳機能障害

1. ある	2. ない
-------	-------

問4 あなたは現在、医療的ケアを受けていますか。

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

▶ あなたが現在受けている医療的ケアはどれですか。また、行政に求める支援はどれですか。（〇はいくつでも）

現在受けている医療的ケア	1. 気管切開 2. 人工呼吸器（レスピレーター） 3. 吸入 4. 吸引 5. 胃ろう・腸ろう 6. 鼻腔経管栄養 7. 中心静脈栄養（IVH） 8. 透析 9. カテーテル留置 10. ストマ（人工肛門・人工膀胱） 11. 服薬管理 12. その他
求める行政支援	1. ご家族等のレスパイト 2. 通学・通園・通勤時の移動支援 3. 災害時の避難先確保 4. 短期入所施設の拡充 5. 特にない 6. その他（

問5 あなたの生活を支えている収入は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 事業による収入
2. 給与による収入
3. 工賃(就労支援サービスや作業所での活動により支給される収入)
4. 年金(障害基礎年金、老齢基礎年金、遺族年金等の年金)
5. 手当等(特別障害者手当等の手当、心身障害者扶養共済年金)
6. 家族の給与・親戚などの援助
7. 生活保護
8. その他()

問5で「1～5」に〇をつけた方におたずねします。

(1) あなたの年金や手当を含む1か月あたりの収入はいくらですか。(〇は1つ)

1. 7万円未満(障害基礎年金2級相当)
2. 7万円～9万円未満(障害基礎年金1級相当)
3. 9万円～15万円未満
4. 15万円～25万円未満
5. 25万円～45万円未満
6. 45万円以上

問6 日常生活で、あなたの介助や支援をしている人は主にどなたですか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 子ども
3. 親(父・母)
4. 祖父母
5. 孫
6. 兄弟姉妹
7. その他の親族
8. 友達・仲間
9. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
10. 相談支援事業所の相談支援員
11. 施設の職員・世話人
12. ボランティア・NPOの職員
13. いない(介護や支援は必要ない)
14. その他()

せいかつ ば
生活の場についておたずねします。

と
問7 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(〇は1つ)

1. 一人で暮らしている
2. 家族と暮らしている
3. グループホームで暮らしている
4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている
5. 病院に入院している
6. その他（ ）

と
問8 あなたは今後（将来）、どこで暮らしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 一人暮らしをしたい → (1) へ
2. 家族と一緒に生活したい
3. グループホームなどを利用したい
4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい
5. 今のまま生活したい
6. その他（ ）

と
問8で、「1. 一人暮らしをしたい」に〇をつけた方におたずねします。

(1) 現在、一人暮らしが難しい理由を教えてください。

1. 日常生活で介助や支援が必要なため
2. 同居する親族等の介護等をしているため
3. 収入など経済的な理由から難しい
4. 入居できる賃貸住宅等を見つけることが難しい
5. その他（ ）

と
問9 地域で安心して暮らせる住まいを確保するために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 建物がバリアフリー化されている（バリアフリー化できる）こと
2. バリアフリーのための住宅改造等（リフォーム）の費用の補助があること
3. 不動産会社等が正当な理由なく入居を拒まないこと
4. 入居できる住宅の紹介や斡旋をするサービスがあること
5. 市営住宅等のバリアフリー化を充実すること
6. 共同で生活し、介助等の支援を受けられる住まい（グループホーム等）を増やすこと
7. 個別で生活し、必要な時にすぐに支援を受けることができる住まいを増やすこと
8. 住まいに関する相談や紹介を行う相談窓口を設けること
9. 特になし
10. その他（ ）

問 1 0 住まいの確保のほかに地域で生活するために必要だと思うことは何ですか。(〇は2つまで)

1. 身近に仲間や家族がいること
2. 身近に介助者や相談できる人がいること
3. 地域で生活できる収入があること
4. 在宅で医療的ケアなどが利用できること
5. 周囲の交通機関や公共施設などの環境が整備されていること
6. 防犯や災害時の支援などの仕組みが整っていること
7. 地域の人たちに障害や障害者への理解があること
8. 地域に休日や夜間でも外来診療や入院が可能な病院・診療所があること
9. 特にない
10. その他 ()

問 1 1 福祉のまちづくり（バリアフリー化）について、広島市が重点的に進めていく必要があるのはどのようなことだと思いますか。(〇は2つまで)

1. 乗り降りしやすいバス・電車を増やすこと
2. 駅をバリアフリー化すること
3. 公共の建物をバリアフリー化すること
4. 道路の段差、誘導ブロック等を整備すること
5. 視覚障害者向けの音声案内や音響信号機、聴覚障害者向けの文字案内などを充実すること
6. 交通機関や公共の建物などで、わかりやすいマークや色を活用した表示（ユニバーサルデザイン）を充実すること
7. 道路上にある自転車や看板など通行の妨げになる物を整理・撤去すること
8. 車いす使用者用駐車区画を充実すること
9. 障害者等に配慮されたエレベーターを充実すること
10. 車いす使用者やオストメイト等対応トイレを充実すること
11. 特にない
12. その他 ()

にちじょうせいかつ しゅうろう
日常生活や就労についておたずねします。

とい がいしゅつ じょうきょう ぐたいてき こた
問 1 2 外出の状況について、具体的にお答えください。

(1) あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○は3つまで)

1. 通勤・通学・通所	2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診	4. 買い物
5. 友人・知人に会う	6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動への参加	8. 散歩
9. あまり外出しない	
10. その他 (	)

(2) あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つ)

1. 父母・祖父母・兄弟	2. 配偶者
3. 子ども	4. ヘルパーや施設の職員
5. 一人	6. その他 (

(3) 外出する時に主に利用する交通機関は何ですか。(○は2つまで)

1. 公共交通機関 (J R、電車、バス、アストラムラインなど)	
2. タクシー	3. 自家用車
4. 自転車	
5. その他 (	)

とい みてきてき あんびかくにん こえ みまも ひつよう
問 1 3 あなたは、定期的な安否確認や声かけによる、見守りの必要がありますか。

1. 必要がある → (1) へ	2. 必要ない → 問 1 4 へ
------------------	-------------------

とい ひつよう かた
問 1 3 で「1. 必要がある」に○をつけた方におたずねします。

みまも ひつよう しょうがいしゃ たいしょう しょくじ とど さい あんびかくにん おこな はいしょく
(1) 見守りが必要な障害者を対象に、食事を届けた際に安否確認を行う配食サービス
せいど しょくじだい じ こふたん りよう
制度 (食事代は自己負担) があれば、利用したいですか。(○は1つ)

1. 今すぐ利用したい
2. いずれ利用したい
3. 現在、高齢者配食サービスを利用している
4. 配食サービス以外の食事サービス (食材の配達、家事支援など) を利用したい
5. 利用したくない (必要ない)
6. その他 (

問 1 4 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

1. 会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている → (1)～(3)へ
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 自宅で過ごしている
8. 入所している施設や病院などで過ごしている
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
10. 特別支援学校(小、中、高等部)に通っている
11. 一般の小中学校、高校に通っている
12. 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている
13. その他()

問 1 5 へ

問 1 4 で「1」に○をつけた方におたずねします。

▶(1) 現在の仕事に就く主なきっかけは何でしたか。(○は1つ)

1. ハローワークの紹介
2. 障害者就業・生活支援センターへの相談
3. 福祉作業所や障害福祉サービス事業所などの訓練
4. 学校での進路指導・実習
5. 職業訓練校などの指導・紹介
6. 知人・親族の紹介
7. 家業を継いだなど(起業も含む)
8. 求人広告、インターネットなどで自分で探した
9. その他()

▶(2) どのような働き方で仕事をしていますか(○は1つ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの配慮がある
3. パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他()

▶(3) 現在の仕事を始めてから何年になりますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

問 1 6 へ

問 1 4 で「1」以外を選択した 1 8 ～ 6 4 歳の方におたずねします。

問 1 5 あなたは、今後収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 仕事をしたいと思う → (1) へ

2. 仕事をしたいと思わない、またはできない → (2) へ

問 1 5 で「1. 仕事をしたいと思う」に○をつけた方におたずねします。

(1) 就職前にどのような支援があれば、安心して就職しやすくなると思いますか。(○は2つまで)

1. 就職前に自分の仕事の適性を判断・評価してもらうこと
2. 就職前に専門的な技能を習得するための訓練を受けること
3. 就職前に生活のリズムを整えるなどの訓練を受けること
4. 希望する職場で試験的に働く機会があること
5. 職業訓練や支援などは受けたくない、受ける必要はない
6. その他 ()

問 1 5 で「2. 仕事をしたいと思わない、またはできない」に○をつけた方におたずねします。

(2) 仕事をしたいと思わない、またはできない主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 障害が重度のため
2. 高齢のため
3. 働く必要がないため
4. 自分に合った仕事がないため
5. 今のまま、福祉施設、作業所への通所を続けたい (就労継続支援 A 型も含む)
6. 今のまま、ボランティアや学業を続けたい
7. 家事・育児をしているため
8. 今後の過ごし方を考えるため、しばらくゆっくり過ごしたい
9. その他 ()

問 1 6 全員におたずねします。障害者が就労するために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 通勤しやすいこと
2. 働きながら安心して通院できること
3. 希望する勤務時間や日数を選べること
4. 賃金面で満足のいく待遇が受けられること
5. 障害に応じた仕事があること
6. 職場での差別や偏見を無くすこと
7. 自宅で仕事ができること
8. 職場で良い人間関係が築けること
9. 職場で介助や援助等が受けられること
10. 職場に障害や障害者への理解者がいること
11. 相談できるジョブコーチ(障害者が職場に対応できるよう、障害者や雇用主等に対して支援・助言等を行う援助者)などの支援者・指導者がいること
12. 職場に障害者用の設備や機器が整っていること
13. 障害者を雇用する企業を増やすこと
14. 特にない
15. その他 ()

福祉サービス等の利用状況についておたずねします。

問 17 現在、障害福祉サービスを利用されていますか。(〇は1つ)

1. 利用している → (1)・(2)へ
 2. 利用していないが、今後利用したい
 3. 利用していない・利用する予定はない → 問 18へ

問 17で「1. 利用している」または「2. 利用していないが、今後利用したい」と回答した方におたずねします。

(1) あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つ)

1. 区分 1 2. 区分 2 3. 区分 3 4. 区分 4
 5. 区分 5 6. 区分 6 7. 非該当 8. 受けていない

(2) サービスごとにあてはまるものに〇をつけてください。(①から④のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方に回答(番号に〇)してください。利用状況について障害福祉サービス・地域生活支援事業の受給者証のある方はそれを見て記入してください。)

※③～④については、18歳未満の方のみお答えください。

区 分	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用して いる	利用して いない	利用 したい	利用 しない
① 居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービス	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービス	1	2	1	2
③ 同行援護 視覚障害により移動が大変困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の補助などを行うサービス	1	2	1	2
④ 行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービス	1	2	1	2

区 分	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用して いる	利用して いない	利用 したい	利用 しない
⑤ 重度障害者等包括支援 じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん つね かいご ひつよう かた かいご ひつよう ていど たいへん 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が大変 たか かた きょたくかいご ほうかつてき てい 高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提 きよう 供するサービス	1	2	1	2
⑥ 生活介護 せいかつかいご つね かいご ひつよう かた せいさんかつどう そうさくてきかつどう 常に介護が必要な方に、生産活動や創作的活動の き かい ていきよう ひつよう おう しせつ 機会を提供するとともに、必要に応じて施設で にゅうよく はい しょくじ かいご ていきよう 入浴や排せつ、食事の介護を提供するサービス	1	2	1	2
⑦ 自立訓練（機能訓練） じりつくんれん きのうくんれん しんたいきのう せいかつのうりよく い じ こうじよう ひつよう 身体機能・生活能力の維持・向上のための必要な くんれん おこな 訓練を行うサービス	1	2	1	2
⑧ 自立訓練（生活訓練） じりつくんれん せいかつくんれん ちいき せいかつ こま ひつよう くんれん おこな 地域での生活に困らないよう必要な訓練を行うサ ービス	1	2	1	2
⑨ 就労移行支援 しゅうろういこうしえん つうじよう じぎょうしょ はたら かた いてい きかん 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、 しゅうろう ひつよう ちしきおよ のうりよく こうじよう 就労に必要な知識及び能力の向上のための くんれん おこな 訓練を行うサービス	1	2	1	2
⑩ 就労継続支援（A型） しゅうろうけいぞくしえん エーがた きぎょうとう はたら こんなん かた しゅうろう きかい 企業等で働くことが困難な方に、就労の機会 ていきよう せいさんかつどうとう きかい ていきよう ちしき のうりよく の提供や生産活動等の機会の提供、知識や能力 こうじよう くんれん おこな の向上のための訓練を行うサービス（雇用契約 あり ）	1	2	1	2
⑪ 就労継続支援（B型） しゅうろうけいぞくしえん บีがた きぎょうとう はたら こんなん かた しゅうろう きかい 企業等で働くことが困難な方に、就労の機会 ていきよう せいさんかつどうとう きかい ていきよう ちしき のうりよく の提供や生産活動等の機会の提供、知識や能力 こうじよう くんれん おこな の向上のための訓練を行うサービス（雇用契約 なし ）	1	2	1	2
⑫ 就労定着支援 しゅうろうていちゃくしえん しゅうろういこうしえんとう りようご きぎょうとう しゅうろう かた 就労移行支援等を利用後、企業等へ就労した方に たい きぎょう いりようきかんとう れんらくちょうせい しゅうろう ともな 対し、企業や医療機関等との連絡調整、就労に伴 しょう にちじょうせいかつ しゃかいせいかつじよう もんだい かん い生じる日常生活または社会生活上の問題に関 そうだん ひつよう しえん おこな する相談や必要な支援を行うサービス	1	2	1	2

区 分	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用して いる	利用して いない	利用 したい	利用 しない
⑬療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、 主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の 管理、看護などを提供するサービス	1	2	1	2
⑭短期入所（ショートステイ） 在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合な どに、障害者（児）が施設に短期間入所し、入浴、 排せつ、食事の介護などを行うサービス	1	2	1	2
⑮自立生活援助 施設や病院等を退所または退院し、ひとり暮らし を始める方に対し、自立した日常生活ができるよ う、定期的に訪問し、関係機関との連絡調整や相談 対応などを行うサービス	1	2	1	2
⑯共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、 排泄、食事の介護や相談、日常生活上の援助を 行うサービス	1	2	1	2
⑰施設入所支援 施設に入所する障害者（児）に対し、主に夜間、 入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサー ビス	1	2	1	2
⑱相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、 必要な情報の提供や助言などを行うサービス	1	2	1	2
⑲移動支援、社会参加支援ガイドヘルパー 円滑に外出できるよう、移動を支援するサービス	1	2	1	2
⑳地域活動支援センター 創作活動又は生産活動の機会の提供を行うサー ビス	1	2	1	2
㉑日中一時支援 施設などで日中に見守りなどを行うサービス	1	2	1	2

く 区 ぶん 分	げんざいりよう 現在利用 しているか		こんごりよう 今後利用 したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用 したい	りよう 利用 しない
②②その他 ()	1	2	1	2

い か
以下について、18歳未満の方のみお答えください。

じどうはったつしえん ②③児童発達支援 にちじょうせいかつ きほんてき せいかつしゅうかん うんどう あそ 日常生活における基本的な生活習慣、運動や遊 び、言語、集団に参加する力、考えて行動する ちから み しえん おこな 力を身につけるための支援を行うサービス	1	2	1	2
ほうかごとう ②④放課後等デイサービス がっこう じゅぎょうしゅうりょうご がっこう きゅうこうび きほんてき 学校の授業終了後や学校の休校日に、基本的 な生活習慣を身につけるために必要な訓練や、 しゃかい こうりゅう そくしん しえん おこな 社会との交流の促進などの支援を行うサービス	1	2	1	2
ほいくしょうほうもんしえん ②⑤保育所等訪問支援 ほいくしょう ほうもん しょうがいじ たい しょうがいじがい 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外 の児童との集団生活になじむための専門的な しえん おこな 支援などを行うサービス	1	2	1	2
いりょうがたじどうはったつしえん ②⑥医療型児童発達支援 にちじょうせいかつ きほんてき せいかつしゅうかん うんどう あそ 日常生活における基本的な生活習慣、運動や遊 び、言語、集団に参加する力、考えて行動する ちから み しえん ちりょう おこな 力を身につけるための支援と治療を行うサービス	1	2	1	2
ふくしがたじどうにゅうしよしえん ②⑦福祉型児童入所支援 しょうがいじにゅうしよしせつ にゅうしよ しょうがいじ たい 障害児入所施設に入所する障害児に対して、 きほんてき せいかつしゅうかん うんどう あそ げんご しゅうだん 基本的な生活習慣、運動や遊び、言語、集団に さんか ちから かんが こうどう ちから み 参加する力、考えて行動する力を身につけるた めの支援を行うサービス	1	2	1	2
いりょうがたじどうにゅうしよしえん ②⑧医療型児童入所支援 しょうがいじにゅうしよしせつ していりょうきかん にゅうしよとう 障害児入所施設や指定医療機関に入所等をす る障害児に対して、基本的な生活習慣、運動や遊 び、言語、集団に参加する力、考えて行動する ちから み しえん ちりょう おこな 力を身につけるための支援や治療を行うサービス	1	2	1	2

問 18 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している → (1)へ
2. 利用していない → 問 19へ

問 18で、「1. 利用している」と回答した方におたずねします。

(1) 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 | 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 | 7. 要介護 5 | |

子ども・子育て支援の利用状況について、0歳から11歳までの方におたずねします。

(12歳以上の方は、問 22へ)

問 19 現在、幼稚園や保育所、学童保育などの「子ども・子育て支援」を利用していますか。

(○は1つ)

1. 利用している → (1)へ
2. 利用していない → 問 20へ

問 19で「利用している」に○をつけた方におたずねします。

(1) どのような子ども・子育て支援を利用していますか。(○は1つ)

1. 保育所、認定子ども園
2. 幼稚園
3. その他認可外の保育所
4. 放課後児童クラブ(学童保育) ※
5. その他()

※「放課後児童クラブ」は、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、子どもの生活の場を提供するものです。障害福祉サービスの放課後等デイサービスとは異なります。

問 21へ

問 19で「利用していない」に○をつけた方におたずねします。

問 20 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. (父親か母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 祖父母や親戚がみている
3. 利用したいが、定員に空きがない
4. 利用したいが、障害の程度や医療的ケアに応じた体制が整っていない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもが幼小、まだ利用できる年齢・状況にない
9. その他 ()
10. 特になし、わからない

問 21 子ども・子育て支援として、「定期的に」利用したいと考えるのはどれですか。(○はいくつでも)

1. 保育所、認定こども園
2. 幼稚園
3. その他認可外の保育所
4. 放課後児童クラブ(学童保育)
5. その他 ()
6. 特になし、わからない

アイシーティー ICT (情報・コミュニケーション技術) の利用についておたずねします。

問 22 あなたは、障害福祉の制度や障害福祉サービスなどに関する情報を、主にどこ(誰)から入手しますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 広報紙「ひろしま市民と市政」 | 2. 市のホームページ |
| 3. 新聞やテレビ、ラジオ | 4. 市のホームページ以外のインターネット |
| 5. 区役所などの市の窓口 | 6. 福祉施設、事業所 |
| 7. 医療機関 | 8. 障害者団体、患者団体など |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 障害者相談員 |
| 11. 職場・学校 | 12. 社会福祉協議会 |
| 13. 家族や友人・知人 | 14. 特になし |
| 15. その他 () | |

問 2 3 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮として、どのようなことを求めますか。(〇は2つまで)

1. 誰もが読みやすい文字などを使用してほしい
2. それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい
3. パンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して作成してほしい
4. 手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい
5. SNS(ツイッター、フェイスブックなど)で発信してほしい
6. わかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい
7. 動画などでわかる資料を作成してほしい
8. 必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい
9. その他()
10. 特になし

問 2 4 あなたは、インターネットを利用したパソコン・タブレットやその他の通信機器(スマートフォン等)を使っていますか。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 使っている → (1)へ | 2. 使っていない → 問 2 5 へ |
|-----------------|---------------------|

問 2 4 で「1. 使っている」に〇をつけた方におたずねします。

(1) あなたは、パソコン等を使う際に困ること(不安なこと)がありますか。(〇は3つまで)

1. 操作がわからないときに、教えてくれる人が身近にいない
2. 機器や通信にかかる費用が高い
3. キーボードや周辺機器、ソフトウェアが使いづらい(自分に合っていない)
4. 画面の表示やデザイン(色やレイアウトなど)がわかりにくい
5. 音声聞きづらい
6. インターネットによる悪徳商法(架空・不当請求)
7. 個人情報流出
8. コンピューターウイルスへの感染
9. 特になし
10. その他()

けんこう　しゃかいさんか
健康づくりや社会参加などについておたずねします。

とい
問 2 5　あなたは、この 1 年間に健康診査（健康診断）又はがん検診を受けましたか。

1. 受けた　2. 受けていない

とい
問 2 6　あなたは、この 1 年間に歯の治療や歯科健診を受けましたか。（○は 1 つ）

1. 市内または近隣の歯医者に行っている
2. 障害者専門の歯医者に行っている
3. 訪問歯科診療を受けている
4. 治療やケアをしたいができていない
5. 特に必要ない
6. その他（　　）

とい
問 2 7　あなたは、健康づくりに関して、主にどのようなことを相談したいですか。（○は 3 つまで）

1. からだの健康やけがの予防、治療に関すること
2. 歯の健康に関すること
3. 栄養バランスのとれた食事に関すること
4. 生活習慣病予防に関すること
5. 健康診査（健康診断）に関すること
6. 体力づくりや健康増進に関すること
7. 特にない
8. その他（　　）

とい
問 2 8　あなたは、地域での活動や行事に参加していますか。（○は 1 つ）

1. 参加している　→ (1) へ　2. 参加していない　→ 問 2 9 へ

とい
問 2 8 で「1. 参加している」と答えた方におたずねします。

(1) どのような活動や行事に参加していますか。（○はいくつでも）

1. 市の催し・行事
2. 町内の活動・お祭りなどの地域行事
3. 学校・保育園等の行事
4. 障害者団体、患者団体やグループ等の活動
5. 福祉・ボランティア活動
6. スポーツ・レクリエーション等の大会、イベントへの参加
7. 文化芸術のコンクール、作品展、イベント等への参加
8. 公民館等の生涯学習に関連した活動
9. 趣味の活動・サークル活動
10. その他（　　）

問 29 今後、どのような活動や行事に参加したいですか。(○は3つまで)

1. 市の催し・行事
2. 町内の活動・お祭りなどの地域行事
3. 学校・保育園等の行事
4. 障害者団体、患者団体やグループ等の活動
5. 福祉・ボランティア活動
6. スポーツ・レクリエーション等の大会、イベントへの参加
7. 文化芸術のコンクール、作品展、イベント等への参加
8. 公民館等の生涯学習に関連した活動
9. 趣味の活動・サークル活動
10. その他 ()
11. 参加したいと思わない

問 30 地域での活動や行事に参加しやすくなるために必要だと思うことは何ですか。(○は2つまで)

1. 障害特性ごとの体験教室など、きっかけづくりの支援を行うこと
2. 開催日や参加方法などの情報を入手しやすくすること
3. 会場がバリアフリー化されていること
4. 会場までの移動支援や同行してくれる人がいること
5. 特にない
6. その他 ()

そうだんとう
相談等についておたずねします。

問 3 1 あなたが、悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 近所の人 |
| 3. 友人・知人 | 4. 区役所、児童相談所などの行政機関 |
| 5. 障害者団体、患者団体や家族会 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 障害者相談員 | 8. 相談支援事業所 |
| 9. 施設や作業所の職員 | 10. 居宅介護のヘルパー |
| 11. 発達障害者支援センター | 12. 地域包括支援センター |
| 13. 社会福祉協議会 | 14. 医師や看護師などの医療関係者 |
| 15. ピアサポーター | 16. 学校の先生 |
| 17. 職場の人 | 18. 障害者就業・生活支援センター |
| 19. その他（ | ） |
| 20. 悩みや困ったことはない | |
| 21. 相談したいができない（しない） → （1）へ | |

→ 「21. 相談したいができない（しない）」以外に○をつけた方は問 3 2 へ

問 3 1 で「21. 相談したいができない（しない）」と答えた方におたずねします。

(1) 相談できない（しない）主な理由は何ですか。（○は2つまで）

- 誰（どこ）に相談していいかわからない
- 住んでいる地域に相談できるところがない
- 夜間や休日などに相談できるところがない
- 相談しても満足な助言や回答が得られない
- プライバシー保護に不安がある
- 特にない
- その他（

問 3 2 全員におたずねします。広島市には、障害者の相談に応じて、福祉サービスの利用
援助や各種情報の提供、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成を行って
いる相談支援事業所がありますが、知っていますか。（○は1つ）

- 相談したことがある
- 場所や連絡先を知っているが、相談したことはない
- あるのは聞いたことはあるが、場所や連絡先がわからない
- 知らない

問 3 3 サービス等利用計画・障害児支援利用計画について、おたずねします。

(1) サービス等利用計画・障害児支援利用計画は作成していますか。(○は1つ)

1. サービス等利用計画(セルフプランは除く)を作成した → 問 3 4 へ
2. 障害児支援利用計画(セルフプランは除く)を作成した → 問 3 4 へ
3. セルフプランを作成した → (2) へ
4. 作成していない → 問 3 4 へ
5. わからない → 問 3 4 へ

問 3 3 (1)で「3. セルフプランを作成した」に○をつけた方におたずねします。

(2) その理由は何ですか。(○は1つ)

1. 相談支援事業所が利用できなかった
2. 自分で作成したかった(相談支援事業所を利用しなくても自分で作成できた)
3. わからない

問 3 4 全員におたずねします。相談事業を充実するために(相談したときに満足できるように)特にどのようなことをすればいいと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談員のスキルアップ研修を行う
2. 専門性のある相談員を配置する
3. 気軽に相談できる窓口の数を増やす
4. 専門的な相談機関を整備する
5. 1か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する
6. 夜間や休日なども相談できる窓口を整備する
7. 相談員が自宅などに来てくれる訪問相談を行う
8. 障害者による相談対応(ピアサポート)を充実する
9. 特にない
10. その他 ()

障害者の権利を守る取組についておたずねします。

問 3 5 障害者差別解消法を知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法(正式名「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」)は、障害を理由とする差別の解消を推進することに関する基本的な事項や、行政機関、公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めています。

1. 法律の内容も含めて知っている
2. 詳しい内容は知らないが、知っている
3. 知らない

問36 あなたは、この5～6年の間に、障害や病気を理由に差別を受けたり、嫌な思いをしたことがありますか。

1. ある → (1)～(3)へ

2. ない → 問37へ

問36で「1. ある」と答えた方におたずねします。

(1) どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 学校・職場 | 2. 仕事を探するとき |
| 3. 外出先(買い物など) | 4. 余暇を楽しむとき |
| 5. 病院などの医療機関 | 6. 住んでいる地域 |
| 7. その他() | |

(2) それはどのようなことでしたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|
| 1. 無視された | 2. いやなことを言われた | 3. 暴力をふるわれた |
| 4. 一方的に解雇された | 5. 自由に外出させてもらえなかった | |
| 6. 話しかけたり意見を言ったりしても、相手にされなかった | | |
| 7. 自分のお金や持ち物を無断で使われた、処分された | | |
| 8. 職場での労働条件や給料に差をつけられた | | |
| 9. 施設やお店の利用や交通機関への乗車を拒否された | | |
| 10. 通いたい学校などへの入学を断られた | | |
| 11. 希望する住まいを借りる際に、家主や不動産業者に断られた | | |
| 12. 結婚や恋愛のときに、相手の家族などから反対された | | |
| 13. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた | | |
| 14. その他〔主なものの一つ〕 | | |
- ()

(3) そのことについて、誰かに相談しましたか。(〇は1つ)

1. 相談した → 問37へ

2. 相談しなかった → (4)へ

(3)で「2. 相談しなかった」と答えた方におたずねします。

(4) 相談しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 相談する人がいないから | 2. 相談先が分からないから |
| 3. 恥ずかしくて相談できないから | 4. 情報漏えいが不安だったから |
| 5. 他人を巻き込みたくなかったから | 6. 相談することでもないと思ったから |
| 7. 他の方法で解決したため | |
| 8. その他() | |

問37 全員におたずねします。障害者差別解消法ができて、役所や民間事業者（会社やお店など）における、障害のある人への配慮として良くなったと思うこと、改善されたと思うこととして、どのようなものがありますか。（〇はいくつでも）

1. 段差があるところで、スロープを設置してくれたり職員や社員が手助けしてくれた
2. 講演会や試験などで、扉の近くや見えやすい位置などに座席を設けてもらった
3. 講演会などで、手話通訳者や要約筆記者などを配置してもらった
4. 説明を受ける際に、言葉だけでなく文字にもらった
5. 書類を記入する際に、代筆してもらった
6. 意思を伝えあうために絵や写真のカードやタブレットなどを使ってもらった
7. 疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設けてもらった
8. 特にない、分からない
9. その他（ ）

問38 全員におたずねします。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（〇は1つ）

成年後見制度は、本人の預貯金の管理など（財産管理）や、日常生活での様々な契約など（身上監護）について支援を行う制度です。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

災害時の避難等についておたずねします。

問39 あなたは、あなたの住んでいる地域の災害の危険性（どんな災害の時に避難が必要か）を知っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 知っている → (1)へ | 2. 知らない → 問40へ |
|-----------------|----------------|

問39で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

(1) あなたの住んでいる地域の災害の危険性をどのような方法で知りましたか（〇はいくつでも）

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. ハザードマップ | 2. わがまち防災マップ | 3. 家族や知人から聞いた |
| 4. 広島市防災ポータル | 5. 避難誘導アプリ | 6. 知る方法が分からない |
| 7. その他（ ） | | |

問40 避難の判断に使う気象の情報や避難指示等の避難情報はどこから入手しますか。(〇は3つまで)

1. テレビ
2. インターネット
3. ラジオ
4. 広島市防災情報メール (FAXまたは電話通知を含む)
5. 防災行政無線
6. 家族や知人 (直接教えてもらう)
7. 避難誘導アプリ
8. 家族や知人 (電話・FAX・SNS等で知らせてもらう)
9. 広島市公式SNS (ツイッター、フェイスブック、ライン)
10. 手段がない
11. その他 ()

問41 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(〇は2つまで)

1. 必要な投薬や治療が受けられない
2. 補装具や日常生活用具の使用や入手が困難になる
3. 医療機器などの電源確保が困難になる
4. 意思を伝えたり、情報入手することが困難になる
5. 特にない
6. その他 ()

問42 広島市では、避難情報を出した場合、最初に開設する避難場所として、小学校区に一箇所拠点的な指定緊急避難場所を設置しますが、利用しやすくするために必要なことは何ですか。(〇は2つまで)

1. 避難場所まで移動するための援助
2. 避難場所運営のための人的体制が確保されていること
3. 家族と一緒に過ごせること
4. 障害の程度に応じた対応がなされることや障害への理解が得られること
5. 必要最小限のプライバシーが守られること
6. 特にない
7. その他 ()

問 4 3 ^{いま} 今までのお答えを踏まえて、^{こんご} 今後、^{じゅうてんてき} 重点的に進める必要がある障 害 者 施策はどのよ
うな^{おも}ことだと思ひますか。(○は5つまで)

1. ^{ざいたく} 在宅での生活を支^{せい}援するサービスや、^{にちちゅうかつどう} 日 中活動の場の提^ば供 などの福祉サービスを
^{じゅうじつ} 充 実すること
2. ^{しょうがいしゃ} グループホームなどの障 害 者の共^{きょうどう} 同 住 宅を整^{せい}備すること
3. ^か バリアフリー化された市営^{しえい} 住 宅を増^ふやすなどの取^{とり}組^{くみ}を 行^{おこな}うこと
4. ^{どうろ} 道路や建^{たて}物などの段^{だん}差^さを解^{かい}消^{しょう}するなど、福祉^{ふくし}のまちづくりを推^{すい}進^{しん}すること
5. ^{ふくし} 福祉や医療^{いりよう}のサービスに係^かる利用^{りよう}者負担^{しゃふたん}を軽^{けい}減^{げん}すること
6. ^{しょうがいしゃ} 障 害 者の就^{しゅう}労^{ろう}を促^{そく}進^{しん}する取^{とり}組^{くみ}を 行^{おこな}うこと
7. ^{けんこうしんだん} 健康診断^{じゅうじつ}を充 実するなど、障 害 者の健康^{けんこう}づくりの取^{とり}組^{くみ}を 行^{おこな}うこと
8. ^に 二次障 害^{じしやうがい} (元の障 害^{もと} 以外^{しょうがいがい}の障 害^{しょうがい}。加^か齢^{れい}に伴^{とも}う新^{あら}たな障 害^{しょうがい}を含む)の予^よ防^{ぼう}・治^ち療^{りょう}のた
^{たいせい} めの体制整^{せい}備
9. ^{しょうがいしゃ} 障 害 者向^むけの情^{じょう}報^{ほう}提^{てい}供^{きょう}サービスを充 実するなど、情^{じょう}報^{ほう}・コ^{じゅう}ミュニケーシ^じョン支^し援^{えん}
を推^{すい}進^{しん}すること
10. ^{ふんか} スポーツやレク^{げい}リエーシ^{じゅつ}ョン、文^{ぶん}化^か・芸^{げい}術^{じゅつ}活^{かつ}動^{どう}などの社^{しゃ}会^{かい}参^{さん}加^か活^{かつ}動^{どう}を推^{すい}進^{しん}すること
11. ^{てあて} 手^{ねん}当^{きん}や年^{じゅう}金^{じつ}を充 実すること
12. ^{しょうがい} 障 害^{しょうがい}や障 害 者への理^り解^{かい}を深^{ふか}めるための啓^{けい}発^{はつ}を 行^{おこな}うなど、障 害 者の権^{しょうがい}利^{けん}を^り守^{まも}る取^{とり}組^{くみ}
を推^{すい}進^{しん}すること
13. ^{そうだん} 相^{じょう}談^{ほう}や情^{てい}報^{きょう}を提^{たい}供^{せい}する体制^{じゅうじつ}を充 実すること
14. ^{せいねんこうけんせいど} 成^せ年^{ねん}後^{こう}見^{けん}制^{せい}度^どを使^{つか}いやすくすること
15. ^{おや} 親^{ほん}や本^{にん}人^{こう}の高^{こう}齢^{れい}化^かに^{たい}対^お応^うしたサ^{じゅう}ービス^{じつ}を充 実すること
16. ^{しょくぎょう} 職^{かん} 業^きに^き関^きする教^{しょう}育^いなど、障 害 者の個^{しょうがい}々^このニ^{たい}ーズ^おに^き対^き応^いした教^{じゅう}育^{じつ}を充 実すること
17. ^{しょうがい} 障 害^こがある子^{しょうがい}どもと障 害^こがない子^こどもが^{まな}と^きもに学^{まな}ぶ教^き育^いを推^{すい}進^{しん}すること
18. ^{ほうか} 放^ご課^な後^つや夏^{なつ}休^{やす}みに活^{かつ}動^{どう}できる場^ばを充 実すること
19. ^{さいがいう} 災^ひ害^{じょう}等^じの非^{れん}常^{らく}時^{つう}の連^ひ絡^{なん}通^{たい}報^{せい}・避^そ難^{だん}体^{たい}制^{せい}・相^{せい}談^び体^{せい}制^{せい}を整^{せい}備すること
20. ^{とく} 特^{とく}にない
21. ^た 其^た他^た ()

あなたが、^{ひろしまし}広島市の^{しょうがいしゃふくし}障害者福祉の^{とりくみ}取組について^{おも}思っていることや^{きぼう}希望することなど、
どんなことでも^{じゅう}自由にお書きください。

^{いじょう}以上でアンケートは^お終わりです。^{ごきょうりよく}御協力ありがとうございました。

^{きにゅうず}記入済みの^{ちょうさひょう}調査票は、^{どうふう}同封の^{へんしんようふうとう}返信用封筒に入れ、^い〇月〇日（〇曜日）まで
に^{とうかん}ポストに^{きって}投函してください（^{ふよう}切手は不要です）。